

第4章 予讃線（観音寺～坂出）

第1節 旅プラン

平成26年8月9日（土）～17日（日）、夏季休暇を活用して、故郷香川に行く。9日（土）の往路は青春18きっぷで高松まで移動しようと思ったが、生憎台風11号の影響で岡山止まりとなる。岡山までは順調に進む。江戸時代の旅行者と同じ状況か。やむを得ず、岡山東横インで1泊を過ごす。激辛数独パズルで待ち時間を過ごす。それ故、待ち時間は意外に短く感じる。

9日の高松までのダイヤは次の通り。自宅を4時38分に出る。家内に南林間駅まで送ってもらう。

藤沢 5:49 → 小田原 6:21

小田原 6:22 → 熱海 6:45

熱海 6:49 → 浜松 9:19

浜松 9:23 → 豊橋 9:56

豊橋 10:03 → 大垣 11:31

大垣 11:42 → 米原 12:17

米原 12:20 → 姫路 14:46

姫路 15:01 → 相生 15:23

相生 15:25 → 岡山 16:31

岡山 16:42 → 高松 17:40

電車は15時過ぎ復旧し、実家には、10日（日）、17時半頃到着。軍師官兵衛（父のメッセージ）を見ることができる。高松駅では台風の影響で連絡船うどんはお休みだった。首を長くして待っていてくれた母が五目飯を作ってくれていた。感謝感激。児島駅は満員電車の状態だったが、思い出に残る2日間であった。やむを得ず、岡山から高松まで2枚目の青春18きっぷを活用する。藤沢から岡山まで風景を見ながらの旅となり、思い出に残る旅となった。9日は、台風の影響にも関わらず、まずまずの天気で岡山まで移動できる。電車は2～3分位の遅れで岡山まで移動できる。記憶の限り、8時15分、用宗駅で興津行の電車で離合。8時55分、掛川で晴れ。そして、10時18分、蒲郡界限でポツリとなる。12時12分、近江長岡でも離合。13時30分、高槻で薄日となる。岡山から瀬戸大橋線が運休とこのことで、急遽東横インを予約なしで訪れる。運よく2室位空いているようであった。17時、東横イン岡山（308号室）に到着。松屋で夕食。ここで、注文と異なる料理（チキン）が出て来る。



南林間駅 藤沢駅



姫路駅



東横イン 岡山駅



高松駅 琴電高松築港駅

第2節 8月11日(月); 観音寺～坂出 晴れ

観音寺(8:13)～本山(10:22)～比地大(11:30)～高瀬(12:19)～みの(13:10)～
詫間(14:04)～海岸寺(15:34)～多度津(16:51)～讃岐塩屋(18:10)～丸亀(18:39)～
宇多津(19:20)～坂出(20:37)

2016年8月11日(月)、台風一過でもあり天気に恵まれ、第388回目のウォーキングは、予讃線の観音寺から坂出の35.2kmに挑戦する。井戸駅5時58分発の始発電車で高松築港駅へ。高松駅6時47分の電車で観音寺には8時13分到着。離合は次の通り。



井戸駅

- 7時10分 讃岐府中
- 7時17分 八十場～坂出
- 7時53分 海岸寺
- 7時58分 詫間
- 8時6分 高瀬で特急
- 8時14分 本山

本山と観音寺の間に財田川がある。大きく螺旋を描いて観音寺駅に到着。



高松駅

観音寺駅



観音寺駅界限



本山駅への路

駅前の写真を撮り、8時23分から歩きかける。この川が存在を忘れており、30時間位のロスタイムが生じる。本日は、地元での歩きという安心感から地図を片手にしない歩きとなる。8時40分、46歩ある坂本橋を横切る。近くにはしまむらやベルモニー観音寺があった。8時46分、鉄道を跨り、鉄道の右側を歩く。豊中、豊浜、山本という地名が登場する。西讃は殆ど来たことがないので不案内。



一の谷踏切



財田川

県道237を歩く。8時51分、黒瀬本大線（観音寺市植田町）を歩く。鉄道が大きく左に曲がっていることを見て、9時10分、一の谷踏切を横切り、鉄道の左側となる。ここから、財田川が前方を遮り、大きく迂回を余儀なくされる。車いすを押している御主人に本山駅への方向をお尋ねする。ややこしいが、道なりに沿って行けばOKとのことであった。9時17分、古代米の加麻良神社前に入る。9時33分、財田川の土手にぶつかる。ここから橋に向かって1,436歩程土手歩きとなる。途中、丸山作業所（弁当）があった。鹿隈（かなくま）橋には9時45分到着。224歩ある財田川を渡る。この川は途中で支流もあった。9時56分、三豊市に入る。300m位行き過ぎていた。10時20分、本山西踏切を横切る。10時23分、やっと本日最初の本山駅に到着。



本山駅

駅舎内にある“人生の楽園”といううどん屋で、少し早い昼食とする。店長の小野吾郎さんと冷やしうどんを食べながら、趣味等について語り合う。

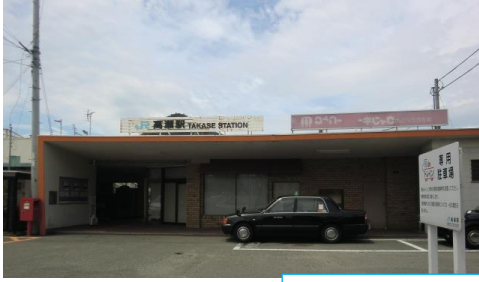
769-1507
三豊市豊中町岡本 JR 本山駅舎内
090-1577-8546

数年前に東京からこちらに越してきたとのことであった。最近、鈴木弘毅氏から駅そば（交通新聞社）という本の寄贈を受けたとのことであった。この店で 20 分位、休憩。
比地大駅への路は、今通って来た道に戻って、幹線道路を歩いた先にあるとのことであった。10 時 51 分、中岡橋を渡る。11 時 8 分、笠田高校前を通過。県道 224 号（岡本高瀬線）を歩く。11 時 25 分、豊中町比地大を通過。11 時 30 分、比地大（ひじだい）駅に到着。丁度上り電車がやってくる。



比地大駅 三豊市高瀬町

11 時 40 分、三豊市高瀬町へ。12 時 10 分、前田踏切を横切り鉄道の右側を線路に沿って歩く。その先に朝岡山行きの特急が停車していた高瀬駅（12 時 19 分）があった。恐らくこの駅が町村合併後の三豊市の中心だろう。駅前はそれなりに町らしく整備されていた。



高瀬駅



みの駅

12時30分、91歩ある橋を渡る。12時51分、三豊市三野町へ。これまでの勘で鉄道に近づいて歩いた先にみの駅（13時10分）があった。13時21分、三野津踏切を横切り鉄道の左側を。踏切で特急が通過して行く。13時36分、再度、踏切を横切り右側を歩く。13時45分、幹線道路（国道11号線？）に出る。13時53分、詫間町松崎交差点近くの病院の駐車場にある自動販売機で水分を補給する。からからになった喉を潤してくれる。その先に詫間駅があった。螺旋階段を渡った先に詫間駅があったが、その階段先への路が見つからず。やっと民家の家の路地（50cm）を通り抜けた先に螺旋階段先があった。王道の路は、松崎の交差点を通り抜け、鉄道を括って鉄道に沿って左側を歩いた先だろう。螺旋階段を上り、鉄道を越える。その先に詫間駅（14時4分）があった。この詫間駅も三豊市となっていた。この駅の方が、高瀬駅より賑やかな感じがしたので、ひょっとすると、三豊市の市役所があるのかも知れない。



詫間駅

詫間という名称は、近所の竹馬の友が詫間電波学校に行った関係で幼少の頃から聞かされていた。14時15分。詫間街道踏切を横切り、鉄道の右側となる。14時33分、再度三豊市三野町となる。地名の通り、川と野が絡み複雑な地形となる。暫く両側に川がある土手を歩く。鉄道は300~400m先右にあったのであろう。14時35分、そろそろ右側の川を渡った方が得策と思い渡る。いい勘であった。途中で歩道が行き止まりとなる。危険と書かれた踏切を横切る。その先の農道を歩く。暫く歩くと民家があり、車道につながる。鉄道が近づいてくる。そして幹線道路に合流する。



津島ノ宮駅 海岸寺駅への路

14時45分、道路下に津島ノ宮駅があった。14時51分、県道21号線に合流する。14時58分、丸亀詫間豊浜戦多度津町見立という道路標識前を通過。14時54分、多度津町へ入る。15時5分、朝乗った電車が私を追い越して行く。恐らく岡山行きだろう。また、この電車と対面するだろう……。予想はあとでの中。15時26分、鉄道が道路下にあった。鉄道の左側となる。前方には風光明媚な海岸線が見えて来る。



仏母院



海岸寺 海岸寺駅

15時32分、五重の塔が見える屏風浦八幡山仏母院があった。道路を挟んで別格18番札所海岸寺があった。お遍路姿の夫婦ずれと門先で対面する。この寺の門先には、大関で活躍した琴ヶ浜貞雄関と関脇で活躍した大豪久照関の像があった。そこから少し行った先に海岸寺駅があった。15時50分、80歩ある弘田川（そよつはし）を渡る。16時20分、ローソンに立ち寄りアイスを購入。多度津港が前方にあった。郵便の船を見つける。16時40分、多度津郵便局前を通過。16時44分、豊津橋（桜川）を渡る。16時45分、多度津役場があった。そして、道路を挟んで多度津小学校があった。真っ直ぐ300m～400m位行った先に

多度津駅 (16時51分) があった。駅前には“少林寺拳法発祥のまち”と記した看板があり。また、「58685」の汽車があった。



多度津小学校 多度津駅



多度津駅

ここから讃岐塩屋駅への路に時間を要する。この駅は多度津町と錯覚していたのが大きなミス。早く曲がり過ぎて、行き止まりとなる。車庫入れをしている人に聞いたところ、讃岐塩屋駅は丸亀市にあるとのことであった。お叱りを受けながら教えて頂く。17時40分、早く曲がり過ぎたポジションに戻って来る。17時45分、堀江公園前を通過。この近くで、通行人に讃岐塩屋駅をお尋ねする。橋を渡って、昭和町の交差点を右に曲がった先にあるとのことであった。17時51分、丸亀市に入る。18時2分、うちの描いた金倉大橋（金倉川）を渡る。その先の交差点を右折した先に讃岐塩屋駅（18時10分）があった。



金倉大橋



讃岐塩屋駅

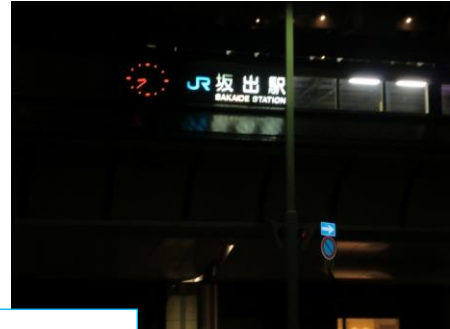
駅は道路下にあった。18時14分、朝乗った車両と対面する。3回目の出会いである。18時23分、JR高架下(右側)を歩く。18時31分、六郷橋を通過。18時39分、丸亀駅に到着。お城のあると表示された浜町の商店街を通り宇多津に向かう。途中で通町とうい商店街もあった。JR高架下を歩く。



丸亀駅



18時57分、225歩ある土器川橋を渡る。19時23分、宇多津駅に到着。駅前にはルートインがあった。ここから高架下を軸に歩く。途中川があり、そこから手探りの状態で歩く。20時JR下を潜る。何人もの人に聞きながら坂出駅を目指す。20時31分、坂出駅交差点に達する。この交差点近郊に吉野家があった。しかし、食事する心境にはなれず。坂出駅には20時37分に到着。運よく、20時45分発のサンポートで高松駅(21時3分着)へ。高松駅から琴電に乗り換えて、自宅には22時20分到着。母が寝ずに待っていていた。本日の営業キロは35.2km、万歩計は88,679歩であった。これで、観音寺から高松まで繋がる。それにしても、財田川越えと宇多津から坂出の道のりは大変であったが、それなりに収穫があり充実した一日となった。これで、観音寺=高松がつながる。



宇多津駅 坂出駅



坂出駅